



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

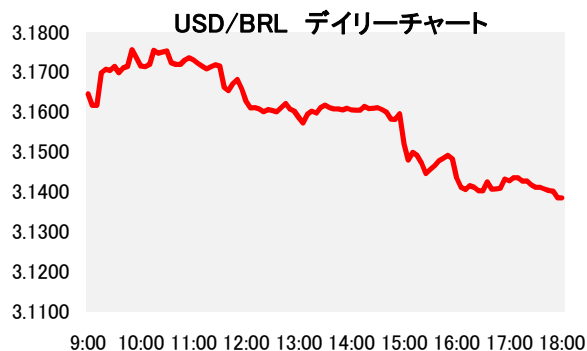
## 1. マーケット・レート

			7月20日	7月21日	7月24日	7月25日	7月26日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1210	3.1430	3.1470	3.1730	3.1380	-0.0350
	BRL/JPY	Spot	35.85	35.37	35.31	35.28	35.41	+0.13
	EUR/USD	Spot	1.1631	1.1663	1.1642	1.1648	1.1736	+0.0088
	USD/JPY	Spot	111.88	111.13	111.14	111.91	111.14	-0.77
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	8.457	8.478	8.478	8.520	8.500	-0.020
	Future	1Year(p.a.)	8.289	8.296	8.296	8.690	8.255	-0.435
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.119	2.122	2.204	2.274	2.309	+0.035
	USD	1Year(p.a.)	2.306	2.306	2.332	2.385	2.407	+0.022
株式	Bovespa指数		64938	64684	65100	65668	65011	-657
CDS	CDS Brazil 5y		211.14	211.24	213.73	216.51	214.07	-2.44
商品	CRB指数		178.398	176.661	176.233	177.666	179.455	+1.79

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

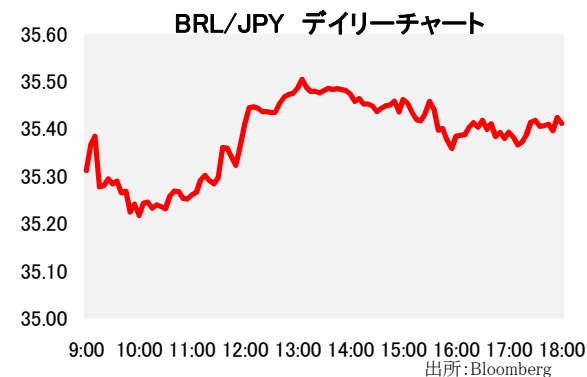
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	-0.14%	-0.11%	-0.15%
FGV建設コスト(前月比)	0.27%	0.22%	1.36%
中央政府財政収支	-20.0b	-19.8b	-29.4b
SELICレート	9.25%	9.25%	10.25%
(米)MBA住宅ローン申請指数	--	0.40%	6.30%
(米)新築住宅販売件数(前月比)	0.80%	0.80%	4.90%
(米)FOMC政策金利(上限)	1.25%	1.25%	1.25%
(米)FOMC政策金利(下限)	1.00%	1.00%	1.00%



## 3. 要人コメント

ベスコビ伯財務長官	ブラジルは2017年の財政目標を達成できるよう、務めている。
-----------	--------------------------------



## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.1660で寄り付いた後、直ぐさま日中安値となる3.1760を付けた。その後、米FOMCを控えた様子見姿勢から3.16台半ばで小幅に推移。注目された米FOMCの結果は予想よりややハト派的な声明となり、ドルは対主要通貨で大幅に下落した。レアルは日中高値となる3.1370を付け、結局3.1380でクローズ。
- 米FOMCはフェデラルファンド金利誘導目標を1-1.25%のレンジで据え置いた。声明では4.5兆ドル規模の保有証券の縮小を「比較的早期に」開始するとの方針を示唆した他、インフレが依然として目標値を下回る低水準であることに言及した。
- マーケット引け後、伯金融政策委員会(COPOM)は市場予想通り、政策金利を1%引き下げ、9.25%とすることを決めた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。